**新型コロナウイルスワクチンの接種方法を確認しましょう**

**問い合わせ　健康推進課新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム**　**23-5311**

**※令和3年3月18日時点の情報をもとに掲載しています。**

**新型コロナウイルスワクチンの供給予定**

　新型コロナウイルスワクチンの接種については、3月5日から医療従事者に対し、大崎市民病院で接種が始まっています。

　高齢者用のワクチンは、4月12日の週に1箱、4月26日の週に1箱の計2箱のワクチンが配布されることになりました。これは、1瓶5回分とした場合に、975人の高齢者の接種2回分の量に相当します。（3月11日時点の情報）

　4月に供給されるワクチンの量では、市内の高齢者の人数（約38,000人）に対し、接種できる人数が限られてしまうため、クラスターの発生抑制と重症化リスクが高い人を優先することとし、高齢者施設入所者（入居者）への接種に使用します。そのほかの高齢者には、安定的に供給される見込みとなる、5月中旬以降に順次接種を開始する予定です。

写真：新型コロナウイルスワクチン

**クーポン券の発送**

　ワクチン接種を受けるために必要となるクーポン券（接種券）は、当初3月下旬以降に高齢者から順次発送する予定でしたが、国から示されたワクチンの供給見込みが変更されたため、右記の予定でクーポン券（接種券）を発送し、その後ワクチン接種を行います。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象者（接種順位） | クーポン券（接種券） | 対象者（接種順位） |
| ❶医療従事者 | ― | 3月5日から接種実施中 |
| ❷高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた人） | 5月上旬 | 5月中旬以降※一部高齢者施設の入所者（入居者）および従事者は4月から実施 |
| ❸高齢者以外で基礎疾患を有する人や高齢者施設などの従事者 | 7月下旬以降予定※ワクチンの供給状況に応じて、変更となる場合があります。 |
| ❹ ❶から❸以外の16歳から64歳の人 |

**クーポン券（接種券）に同封する郵便物**

クーポン券（接種券）・予診票・接種会場一覧表・新型コロナワクチン予防接種についての説明書・その他お知らせ

　予診票とは、接種を受ける人の健康状態を確認するための書類となります。接種を受ける当日は、予診票に必要事項を記入しクーポン券（接種券）と一緒に接種会場へお持ちください。

写真：クーポン券（接種券）

写真：予診票

**新型コロナウイルスワクチンに便乗した特殊詐欺に注意してください**

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種のために必要とかたり、金銭や個人情報をだましとろうとする電話が確認されています。

ワクチン接種は無料であり、市区町村が、ワクチン接種のために金銭や個人情報を訪問・電話またはメールで要求することはありませんので、応じることがないようご注意ください。

**接種を受けるためには**

　クーポン券（接種券）が届いたら、接種できる医療機関や集団接種会場を確認し、必ず事前予約をしてから接種を受けてください。

　市では、スマートフォンやパソコンから、曜日を問わず24時間いつでも予約することが可能な予約システムのほかに、電話予約に対応する予約受付センター（平日9時から17時）をクーポン券の発送にあわせて開設します。

　予約専用サイトのURLや、予約受付センターの電話番号については、クーポン券（接種券）に同封するお知らせを確認してください。

【予約をする際に必要な情報】

・クーポン券（接種券）に記載されている接種券番号・氏名・生年月日・希望する接種会場・希望する接種日時

**ワクチン接種の流れ**

❶市からクーポン券（接種券）を発送します

❷クーポン券（接種券）に同封されているお知らせを確認し、接種会場・日時を決めてください

選択肢A：医療機関（個別接種）

選択肢B：市が設ける集団接種会場（集団接種）

※接種会場は調整中です。

❸インターネットまたは電話で予約をしてください

※予約をする際の、専用サイトのURL、電話番　号は、決まり次第お知らせします。

❹予約をした会場・日時で接種を受けてください

※当日はクーポン券（接種券）、予診票、本人確　認書類を忘れずにお持ちください。

**相談センターを利用ください**

【厚生労働省】新型コロナワクチンコールセンター　電話番号：0120-761-770

受付時間：9時～21時（土曜・日曜日、祝日含む）

内容：コロナワクチン施策のあり方などに関する問い合わせ

【宮城県】新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター　電話番号：022-398-9211

受付時間：24時間

内容：医学的知見が必要となる専門的な問い合わせ

【大崎市】新型コロナウイルスワクチン接種相談コールセンター　開設時期：4月開設予定

受付時間：9時～18時（土曜・日曜日、祝日含む）

内容：ワクチンの接種に関する相談や、クーポン券（接種券）の紛失などに関する問い合わせ

※電話番号などの最新情報は、広報おおさきや市ウェブサイト（上記QRコード）で確認してください。

写真：QRコード

**ワクチンについて**

現在、薬事承認が済んでいるファイザー社製のワクチンは満16歳以上の人が対象となり、21日程度の間隔を設けた2回の接種が必要です。1回目のワクチン接種後に21日以上が経過した場合、すぐに効果がなくなることは認められていませんが、できるだけ速やかに2回目の接種を受ける必要があります。なお、十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日以降とされています。

妊娠中、または妊娠している可能性がある人、授乳されている人の接種は推奨されていませんが、接種を受ける前に必ず医師と相談してください。

【ワクチンの接種を受けることが出来ない人】

・37.5℃以上の発熱をしている人　・重い急性疾患にかかっている人　・ワクチンに含まれる成分に対しアナフィラキシー反応を起こしたことがある人　・上記以外で、医師の判断によって接種を受けることが不適当な状態にある人

※成分などの詳しい内容は、クーポン券（接種券）に同封する「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」を確認してください。

**副反応について**

　新型コロナウイルスワクチンの接種後に、アナフィラキシーという副反応が起こることがあります。

　全国で2月17日から医療従事者向けにワクチン接種が始まってから、3月11日までに延べ181,184人が接種を受け、因果関係が不明な報告を含め37件のアナフィラキシー反応が確認されていますが、症状は軽く、多くが短期間で回復しています。

　症状として、じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急におこり、重度な場合には血圧低下や意識レベルの低下を伴います。

　アナフィラキシー反応は、新型コロナウイルスワクチンだけでなく、さまざまな医薬品やインフルエンザワクチンの投与後にも報告されています。

　市では、万が一、アナフィラキシー反応が発生した場合、すぐに対応できるよう、大崎市民病院や大崎地域広域行政事務組合消防本部と協力して円滑な救急体制を構築しています。